環 境 委 員 会 資 料
令 和 7 年 7 月 24 日

所管事務の調査（報告）

- 令和6年度 川崎市下水道事業会計決算の概況について
- 令和6年度 川崎市水道事業会計決算の概況について
- 令和6年度 川崎市工業用水道事業会計決算の概況について
- 参考資料　決算概況（報道発表資料）

上 下 水 道 局

# Ⅰ　下水道事業会計

## 1　　令和6年度　　下水道事業会計　決算概況　　2

### （１）総括事項

【有収水量】

・近年の有収水量については、小口の使用水量は増加しているものの、大口の使用水量は減少となっていることから、全体としては、ほぼ横ばいで推移

【事業面】

・令和元年東日本台風を踏まえた浸水への対策や大規模地震発生時においても下水道機能を損なわないための地震対策等、下水道が抱える課題を解決するための様々な取組を実施

【財政面】

・損益において予算対比で一般会計負担金等の減により減収となったものの、動力費等の費用が減となったことから、当年度純利益は増加

・単年度資金については資金不足が生じ、累積資金残額は減少

### （２）業務の状況

| 処理面積 | 処理人口 | 人口普及率 |
|---|---|---|
| 1万725ha | 154万7,488人 | 99.6% |
| 有収水量 | 下水道使用料（税抜額） | |
| 151,620,308㎥ | 219億892万8,656円 | |

### （３）建設及び改良工事

【建設改良費の決算額】

・前年度からの繰越事業費を加えて、243億4,396万7,615円

・令和7年度への繰越額は、102億311万8,300円

【主な建設改良工事】

＜管　　き　　ょ＞

・浸水リスクの高い土橋地区等で浸水被害軽減に向けた浸水対策工事を施行

・重要な管きょのうち、避難所や重要な医療機関と水処理センターとを結ぶ管きょの地震対策工事を施行

＜ポ　ン　プ　場＞

・老朽化の進む大師河原ポンプ場の再構築に向けた建設工事を施行

・各ポンプ場で老朽化した設備の更新工事を施行

＜水処理センター＞

・等々力水処理センターで高度処理化に向けた建設工事を施行

・各水処理センターで老朽化した設備の更新工事を施行

## （１）予算執行状況

### ア 収入

（単位 円：税込額）

| 科　　目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増 △ 減 | 執行率 |
|---|---|---|---|---|
| 収益的収入 | 45,235,934,000 | 44,555,417,138 | △ 680,516,862 | 98.5% |
| 資本的収入 | 48,819,066,000 | 38,306,340,448 | △ 10,512,725,552 | 78.5% |
| 合　　計 | 94,055,000,000 | 82,861,757,586 | △ 11,193,242,414 | 88.1% |

### イ 支出

（単位 円：税込額）

| 科　　目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増 △ 減 | 執行率 |
|---|---|---|---|---|
| 収益的支出 | 43,852,696,000 | 40,572,442,426 | △ 3,280,253,574 | 92.5% |
| 資本的支出 | 70,350,888,000 | 59,511,854,346 | △ 10,839,033,654 | 84.6% |
| 合　　計 | 114,203,584,000 | 100,084,296,772 | △ 14,119,287,228 | 87.6% |

## （２）収支状況

### ア 収益的収支

（単位 円：税込額）

| 区　　分 | 収　　入 | 支　　出 | 収支差引 |
|---|---|---|---|
| 収益的収支 | 44,555,417,138 | 40,572,442,426 | 3,982,974,712 |

収益的収支差額（税抜額）　＝　当年度純利益（△純損失）　2,564,031,093 円

### イ 資本的収支

（単位 円：税込額）

| 区　　分 | 収　　入 | 支　　出 | 収支差引 |
|---|---|---|---|
| 資本的収支 | 38,306,340,448 | 59,511,854,346 | △ 21,205,513,898 |

資本的収入額（翌年度に繰越される支出の財源に充当する額4,000,000円は除く。）が資本的支出額に不足する額 21,209,513,898円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,416,593,265円、減債積立金 2,635,673,143円、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金17,157,247,490円で補填した。

（３）資金過不足額

ア　令和6年度単年度資金過不足額

（単位　円）

| 区　分 | | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|
| A | 当年度純利益（△純損失） | 2,564,031,093 | 【補填財源の内訳】<br>・当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額　1,416,593,265<br>・当年度分損益勘定留保資金　16,761,691,276<br>減価償却費　23,942,670,091<br>固定資産除却費　241,522,350<br>長期前受金戻入　△ 7,471,019,195<br>その他非現金　48,518,030<br>・退職給付引当金増減額　△ 102,744,111 |
| B | 資本的収支差額 | △ 21,205,513,898 | |
| C | 補填財源等 | 18,075,540,430 | |
| A+B+C | 単年度資金残額（△資金不足額） | △ 565,942,375 | |

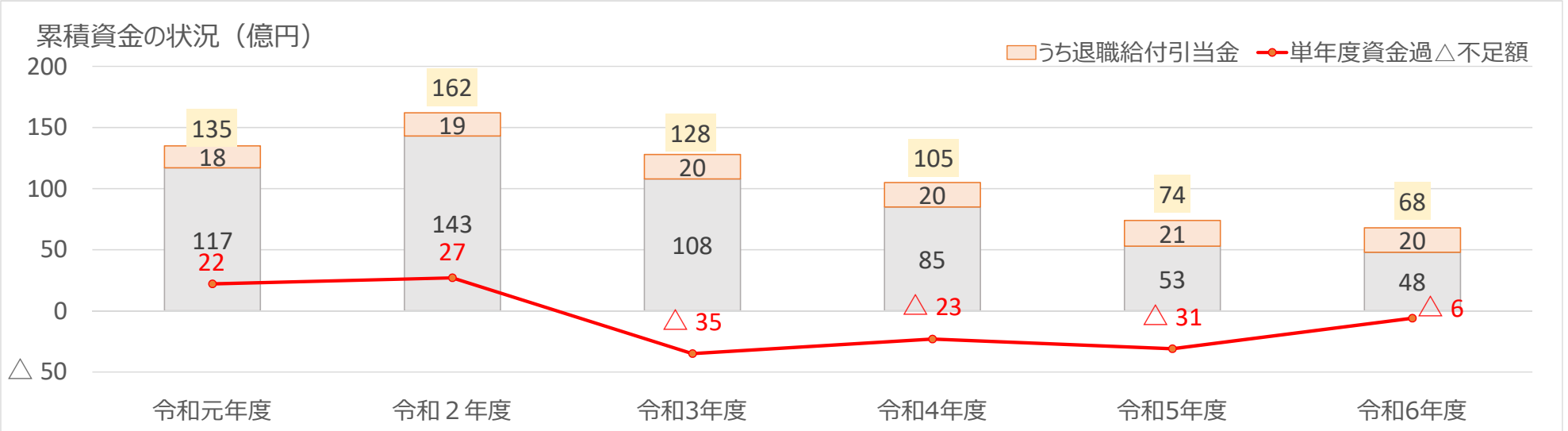
※単年度資金残額には翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額 4,000,000円を含む。

イ　累積資金過不足額

（単位　円）

| 区　分 | 令和5年度末資金残額 | 令和6年度単年度資金残額（△資金不足額） | 令和6年度末資金残額※ |
|---|---|---|---|
| （うち退職給付引当金）<br>資　金 | （　2,115,333,043 ）<br>7,393,519,749 | （　△ 102,744,111 ）<br>△ 565,942,375 | （　2,012,588,932 ）<br>6,827,577,374 |

※退職給付引当金を除く資金残額については、令和7年度以降の元金償還金等に充てる予定である。




※端数処理の関係から、合計額と内訳が一致しない場合があります。

（４）経営成績

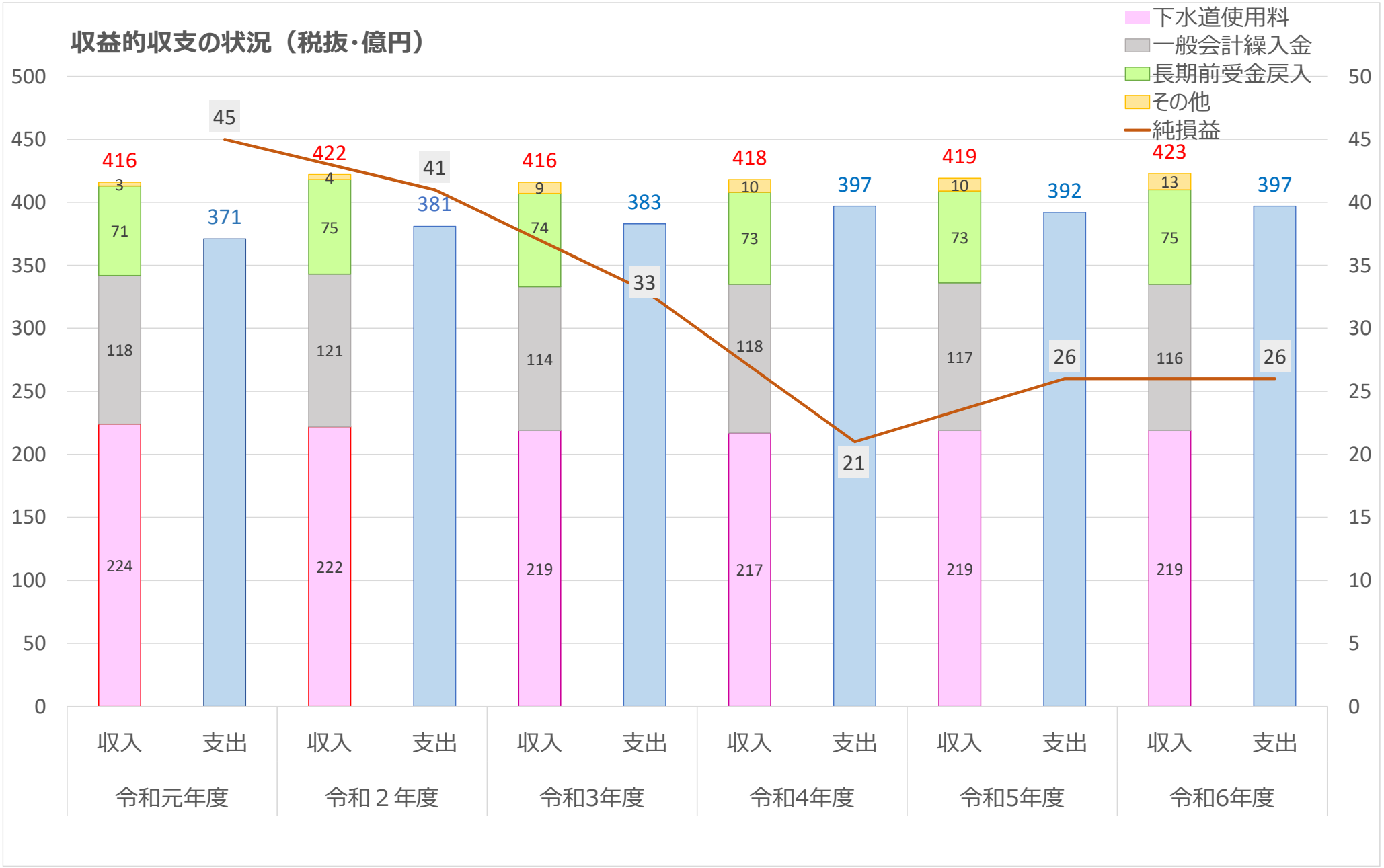
（単位 円：税抜額）

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| 営業費用 | 37,586,714,909 | 営業収益 | 33,648,170,939 |
| 営業外費用 | 2,104,072,269 | 営業外収益 | 8,079,156,441 |
| 特別損失 | 48,913,765 | 特別利益 | 576,404,656 |
| 総費用 | 39,739,700,943 | 総収益 | 42,303,732,036 |
| 当年度純利益 | 2,564,031,093 | 当年度純損失 | － |
| 前年度繰越利益剰余金 | 0 | 前年度繰越欠損金 | － |
| その他未処分利益剰余金変動額 | 2,635,673,143 | | |
| 当年度未処分利益剰余金 | 5,199,704,236 | 当年度未処理欠損金 | － |

※当年度未処分利益剰余金のうち、当年度純利益2,564,031,093円は減債積立金に利益処分の予定であり、現金預金の裏付けのない使用後の減債積立金分 2,635,673,143円は、令和７年度に資本金に組み入れる予定である。

（５）財政健全化法における資金不足比率の状況

| 会計名 | 資金不足比率 | 経営健全化基準 |
|---|---|---|
| 下水道事業会計 | 資金不足となっていない<br>－ | 20% |




※端数処理の関係から、合計額と内訳が一致しない場合があります。

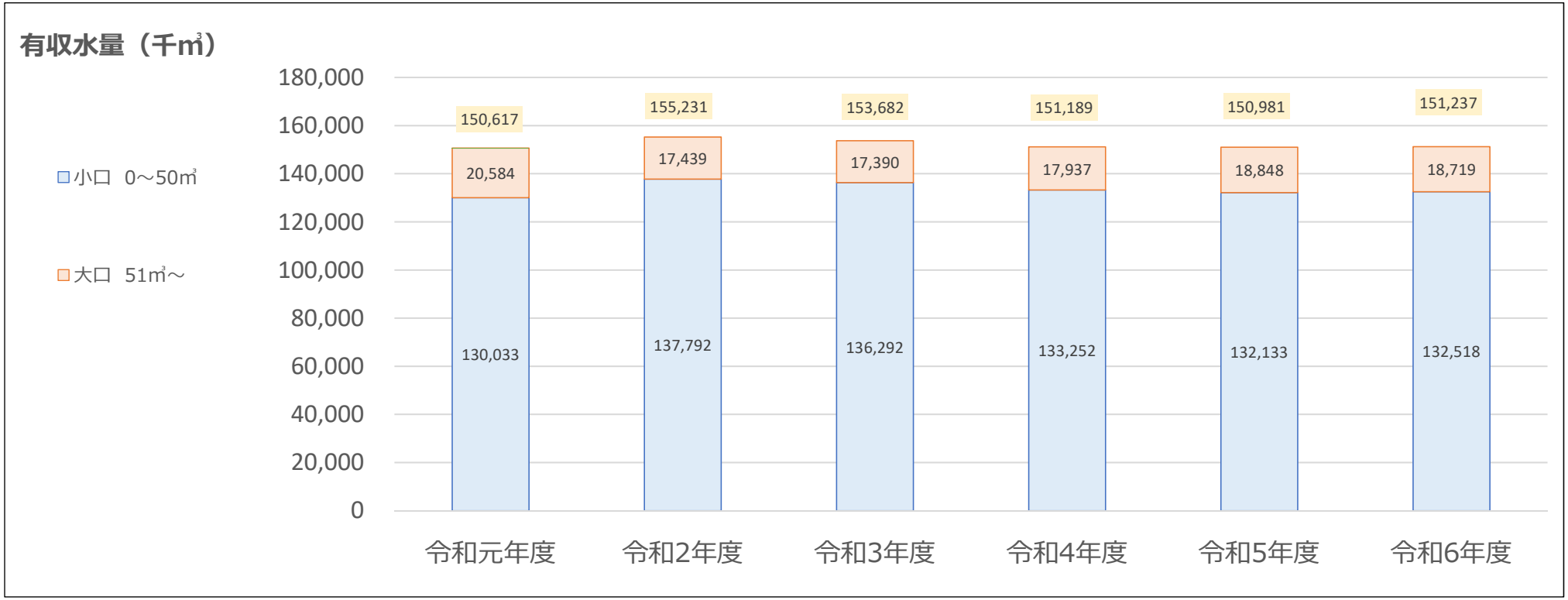
| 項目＼年度 | 令和6年度 | 令和5年度 | 増 △ 減　（%） |
|---|---|---|---|
| 総人口（人） | 1,553,920 | 1,548,254 | 5,666 （ 0.4 ） |
| 処理人口（人） | 1,547,488 | 1,541,588 | 5,900 （ 0.4 ） |
| 人口普及率（%） | 99.6 | 99.5 | 0.1 P （ 0.1 ） |
| 処理面積（ha） | 10,725 | 10,723 | 2 （ 0.0 ） |
| 排水区域面積（ha） | 10,725 | 10,723 | 2 （ 0.0 ） |
| 水洗化対策件数（件） | 787,005 | 775,659 | 11,346 （ 1.5 ） |
| 水洗化件数（件） | 784,800 | 773,431 | 11,369 （ 1.5 ） |
| 水洗化助成件数（件） | 24 | 15 | 9 （ 60.0 ） |
| 年間処理水量（㎥） | 201,752,974 | 196,298,703 | 5,454,271 （ 2.8 ） |
| １日平均処理水量（㎥/日） | 552,748 | 536,335 | 16,413 （ 3.1 ） |
| 年間有収水量（㎥） | 151,620,308 | 151,395,502 | 224,806 （ 0.1 ） |
| 管きょ延長（m） | 3,167,061 | 3,162,413 | 4,648 （ 0.1 ） |
| 下水道使用料（円：税抜額） | 21,908,928,656 | 21,929,747,260 | △ 20,818,604 （ △ 0.1 ） |

※令和５年度はうるう年

上段（指数）

| 区　分 | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 有収水量（千㎥） | | （100）<br>150,617 | （103）<br>155,231 | （102）<br>153,682 | （100）<br>151,189 | （100）<br>150,981 | （100）<br>151,237 |
| 内訳 | 小口　0～50㎥（千㎥） | （100）<br>130,033 | （106）<br>137,792 | （105）<br>136,292 | （102）<br>133,252 | （102）<br>132,133 | （102）<br>132,518 |
| 内訳 | 大口　51㎥～（千㎥） | （100）<br>20,584 | （85）<br>17,439 | （84）<br>17,390 | （87）<br>17,937 | （92）<br>18,848 | （91）<br>18,719 |
| 下水道使用料（億円：税込額） | | （100）<br>243.9 | （100）<br>243.8 | （99）<br>240.7 | （98）<br>238.5 | （99）<br>241.2 | （99）<br>241.0 |
| 下水道使用料（億円：税抜額） | | （100）<br>224.4 | （99）<br>221.6 | （98）<br>218.8 | （97）<br>216.8 | （98）<br>219.3 | （98）<br>219.1 |

（注）有収水量は、公衆浴場の使用水量を含んでいない。指数は令和元年度を100とする場合の指数



（税込額）

| | | | 令和6年度 | 令和5年度 | 増△減額 | 増△減率<br>% | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 収益的収入 | | | 445億5,500万円 | 441億500万円 | 4億5,000万円 | 1.0 | |
| | 主な収入 | 下水道使用料 | 240億9,800万円 | 241億2,100万円 | △2,300万円 | △ 0.1 | |
| | | 一般会計繰入金 | 120億1,800万円 | 116億5,400万円 | 3億6,400万円 | 3.1 | 雨水処理負担金の増 |
| | | 長期前受金戻入 | 74億7,100万円 | 73億2,800万円 | 1億4,300万円 | 2.0 | 国庫補助金戻入の増 |
| 2 収益的支出 | | | 405億7,200万円 | 401億300万円 | 4億6,900万円 | 1.2 | |
| | 主な支出 | 維持管理費 | 143億100万円 | 142億3,200万円 | 6,900万円 | 0.5 | |
| | | 資本費 | 261億2,900万円 | 257億2,600万円 | 4億300万円 | 1.6 | 減価償却費の増 |
| 3 差引（1－2） | | | 39億8,200万円 | 40億200万円 | △2,000万円 | △ 0.5 | |
| ※ 純損益（税抜額） | | | （純利益）<br>25億6,400万円 | （純利益）<br>26億3,500万円 | △7,100万円 | △ 2.7 | |
| 4 資本的収入 | | | 383億600万円 | 334億7,000万円 | 48億3,600万円 | 14.4 | |
| | 主な収入 | 国庫補助金 | 75億6,300万円 | 73億6,100万円 | 2億200万円 | 2.7 | |
| | | 企業債 | 300億5,300万円 | 249億8,500万円 | 50億6,800万円 | 20.3 | 建設企業債の増、借換企業債の増 |
| | | 一般会計出資金 | 200万円 | 3億7,300万円 | △3億7,100万円 | △ 99.5 | 一般会計出資金の減 |
| 5 資本的支出 | | | 595億1,100万円 | 571億1,400万円 | 23億9,700万円 | 4.2 | |
| | 主な支出 | 建設改良費 | 243億4,300万円 | 233億4,100万円 | 10億200万円 | 4.3 | 工事請負費の増 |
| | | 企業債償還金 | 319億3,300万円 | 307億3,200万円 | 12億100万円 | 3.9 | 企業債償還金の増 |
| 6 差引（4－5） | | | △212億500万円 | △236億4,400万円 | 24億3,900万円 | △ 10.3 | |
| 7 資金不足比率 | | | （資金不足となっていない）<br>－ | （資金不足となっていない）<br>－ | | | 財政健全化法における経営健全化基準　20% |

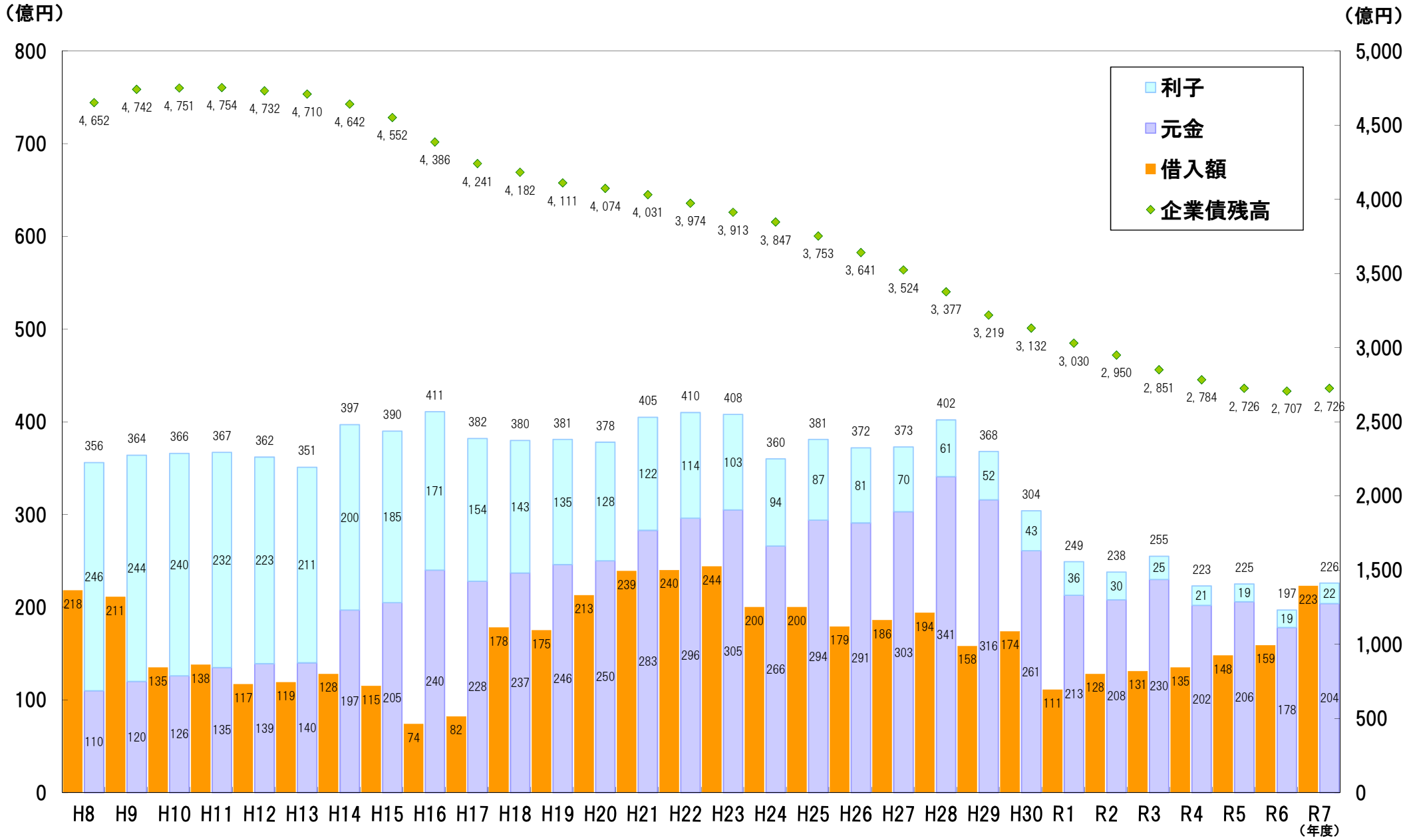
※　金額については、百万円未満を切り捨て。

※　増減率については、小数点第２位を四捨五入。

# 企業債残高と元利償還金の推移と見込み



（利子・元金・借入額）　　（企業債残高）



# 1　令和6年度　水道事業会計　決算概況　11

## （1）総括事項

【有収水量】

・本市の人口は増加しており、小口の使用水量は増加しているものの、大口の使用水量は減少となっていることから、全体としてはほぼ横ばいで推移

【事業面】

・大規模地震を踏まえた基幹施設や老朽化した管路の更新、耐震化を推進
・水道基幹管路のバックアップ強化のための二重化・ネットワーク化の実施

【財政面】

・損益において、予算対比で給水収益は減となったものの、委託料、修繕費等の費用が減となったことから、当年度純利益は増加
・単年度資金については、資金不足額が生じ、累積資金残額は減少

## （2）業務の状況

| 給水人口 | 給水栓数 | 普及率 |
|---|---|---|
| 155万3,892人 | 92万1,349栓 | ほぼ100% |
| 年間配水量 | 1日最大配水量 | 水道料金収入（税抜額） |
| 1億8,021万2,100㎥ | 令和6年12月22日　52万2,600㎥ | 243億2,469万8,203円 |

## （3）建設及び改良工事

【建設改良費の決算額】

・前年度からの繰越事業費を加えて、138億9,776万9,210円
・令和7年度への繰越額は、61億239万3,527円

【主な建設改良工事】

＜配水施設費＞
・大規模地震を踏まえた基幹施設や老朽化した管路の更新、耐震化を図るため、千代ヶ丘配水塔更新工事等を施行
＜耐震管路等整備事業費＞
・老朽化した管路の更新や耐震化を図るため、配水管布設替工事等を施行

## （１）予算執行状況

### ア 収入

（単位 円：税込額）

| 科　　目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増 △ 減 | 執行率 |
|---|---|---|---|---|
| 収益的収入 | 35,277,697,000 | 34,630,965,001 | △ 646,731,999 | 98.2% |
| 資本的収入 | 8,407,929,000 | 7,455,022,345 | △ 952,906,655 | 88.7% |
| 合　　計 | 43,685,626,000 | 42,085,987,346 | △ 1,599,638,654 | 96.3% |

### イ 支出

（単位 円：税込額）

| 科　　目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増 △ 減 | 執行率 |
|---|---|---|---|---|
| 収益的支出 | 33,563,267,000 | 31,762,988,210 | △ 1,800,278,790 | 94.6% |
| 資本的支出 | 24,638,063,781 | 17,437,323,247 | △ 7,200,740,534 | 70.8% |
| 合　　計 | 58,201,330,781 | 49,200,311,457 | △ 9,001,019,324 | 84.5% |

## （２）収支状況

### ア 収益的収支

（単位 円：税込額）

| 区　　分 | 収　　入 | 支　　出 | 収支差引 |
|---|---|---|---|
| 収益的収支 | 34,630,965,001 | 31,762,988,210 | 2,867,976,791 |

収益的収支差額（税抜額）　＝　当年度純利益（△純損失）　1,657,261,555 円

### イ 資本的収支

（単位 円：税込額）

| 区　　分 | 収　　入 | 支　　出 | 収支差引 |
|---|---|---|---|
| 資本的収支 | 7,455,022,345 | 17,437,323,247 | △ 9,982,300,902 |

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 9,982,300,902円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,185,835,972円、減債積立金 1,391,149,907円及び過年度分損益勘定留保資金 7,405,315,023円で補填した。

（３）資金過不足額

ア　令和6年度単年度資金過不足額

（単位　円）

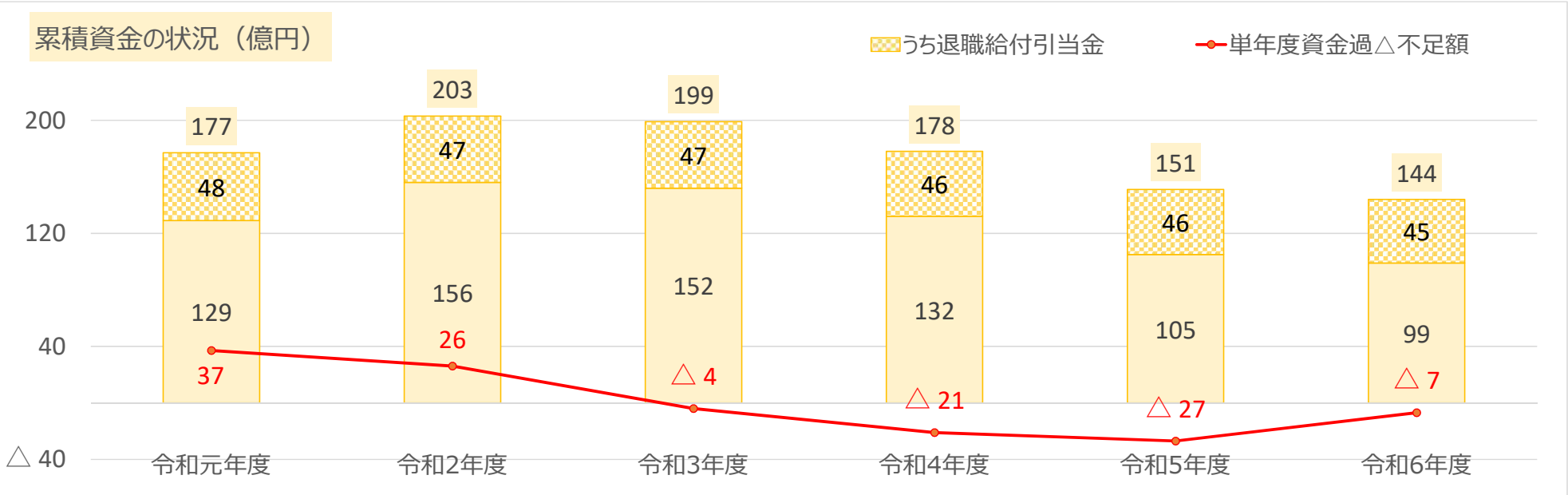
| 区　分 | | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|
| A | 当年度純利益（△純損失） | 1,657,261,555 | 【補填財源の内訳】<br>・当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額　1,185,835,972<br>・当年度分損益勘定留保資金　6,482,688,529<br>減価償却費　6,858,255,809<br>固定資産除却費　341,791,585<br>長期前受金戻入等　△ 717,358,865<br>・退職給付引当金増減額　△ 70,663,090 |
| B | 資本的収支差額 | △ 9,982,300,902 | |
| C | 補填財源等 | 7,597,861,411 | |
| A+B+C | 単年度資金残額（△資金不足額） | △ 727,177,936 | |

イ　累積資金過不足額

（単位　円）

| 区　分 | 令和5年度末資金残額 | 令和6年度単年度資金残額（△資金不足額） | 令和6年度末資金残額※ |
|---|---|---|---|
| （うち退職給付引当金） | （　4,596,498,920 ） | （　△ 70,663,090 ） | （　4,525,835,830 ） |
| 資　金 | 15,138,296,904 | △ 727,177,936 | 14,411,118,968 |

※退職給付引当金を除く資金残額については、令和7年度以降の元金償還金等に充てる予定である。




※端数処理の関係から、合計額と内訳が一致しない場合があります。

（４）経営成績

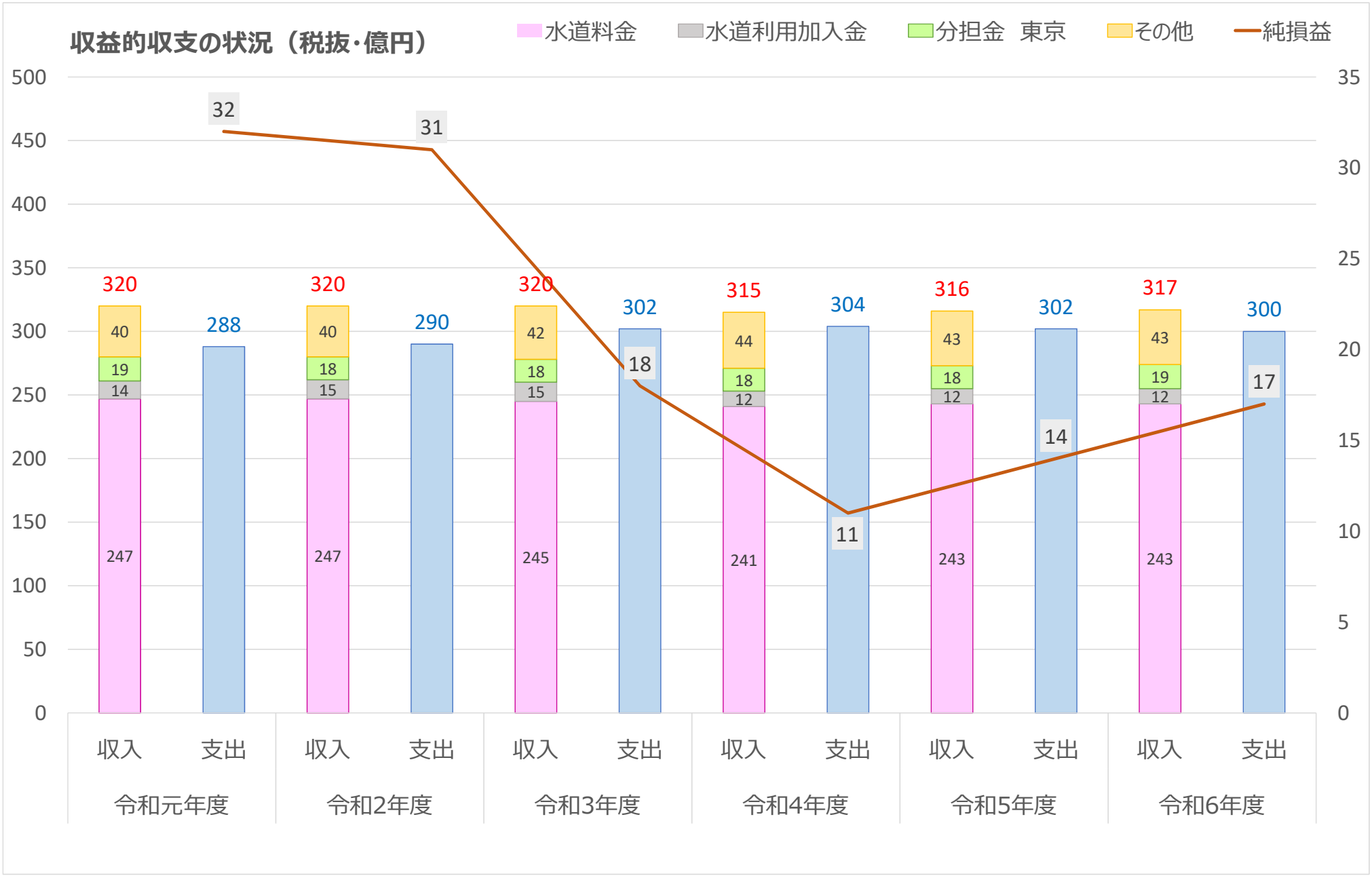
（単位 円：税抜額）

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---|---|---|---|
| 営業費用 | 29,063,213,946 | 営業収益 | 28,504,368,012 |
| 営業外費用 | 949,845,149 | 営業外収益 | 3,140,613,603 |
| 特別損失 | 4,852,209 | 特別利益 | 30,191,244 |
| 総費用 | 30,017,911,304 | 総収益 | 31,675,172,859 |
| 当年度純利益 | 1,657,261,555 | 当年度純損失 | － |
| 前年度繰越利益剰余金 | 0 | 前年度繰越欠損金 | － |
| その他未処分利益剰余金変動額 | 1,391,149,907 | | |
| 当年度未処分利益剰余金※ | 3,048,411,462 | 当年度未処理欠損金 | － |

※当年度未処分利益剰余金のうち、当年度純利益 1,657,261,555円は減債積立金に利益処分の予定であり、現金預金の裏付けのない使用後の減債積立金 1,391,149,907円は令和７年度に資本金に組み入れる予定である。

（５）財政健全化法における資金不足比率の状況

| 会計名 | 資金不足比率 | 経営健全化基準 |
|---|---|---|
| 水道事業会計 | 資金不足となっていない<br>- | 20% |




※端数処理の関係から、合計額と内訳が一致しない場合があります。

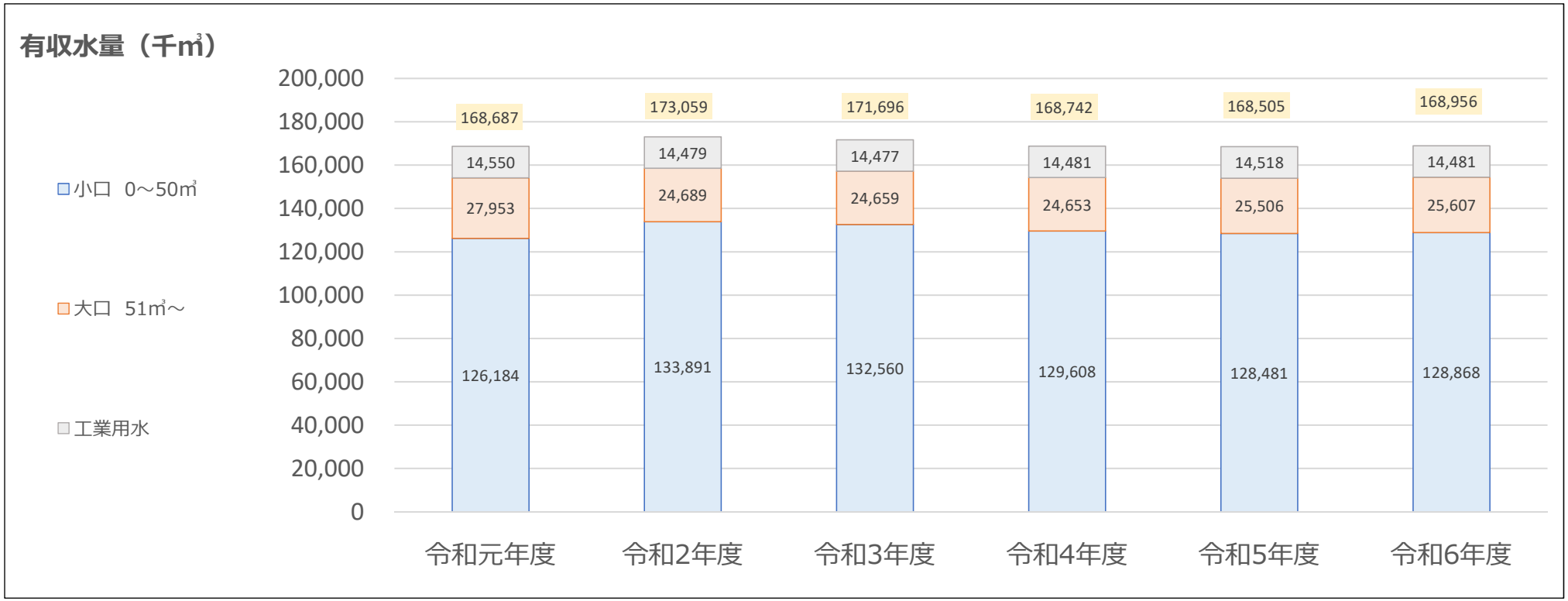
| 項目＼年度 | 令和6年度 | 令和5年度 | 増 △ 減　（%） |
|---|---|---|---|
| 給水人口（人） | 1,553,892 | 1,548,226 | 5,666 （ 0.4 ） |
| 給水栓数（栓） | 921,349 | 913,226 | 8,123 （ 0.9 ） |
| 普及率（%） | 99.99 | 99.99 | 0.00 P （ – ） |
| 年間配水量（㎥） | 180,212,100 | 180,294,900 | △ 82,800 （ △ 0.0 ） |
| 1日最大配水量（㎥/日） | (12/22) 522,600 | (7/2) 520,900 | 1,700 （ 0.3 ） |
| 1日平均配水量（㎥/日） | 493,732 | 492,609 | 1,123 （ 0.2 ） |
| 年間有収水量（㎥） | 168,962,895 | 168,510,326 | 452,569 （ 0.3 ） |
| 1日平均有収水量（㎥/日） | 462,912 | 460,411 | 2,501 （ 0.5 ） |
| 有収率（%） | 93.8 | 93.5 | 0.3 P （ – ） |
| 配水管の延長（m） | 2,429,584 | 2,426,738 | 2,846 （ 0.1 ） |
| 水道料金収入（円：税抜額） | 24,324,698,203 | 24,255,132,276 | 69,565,927 （ 0.3 ） |

※令和５年度はうるう年

上段（指数）

| 区　分 | | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 有収水量 | | （千㎥） | （100） | （103） | （102） | （100） | （100） | （100） |
| | | | 168,687 | 173,059 | 171,696 | 168,742 | 168,505 | 168,956 |
| 内訳 | 小口　0～50㎥ | （千㎥） | （100） | （106） | （105） | （103） | （102） | （102） |
| | | | 126,184 | 133,891 | 132,560 | 129,608 | 128,481 | 128,868 |
| | 大口　51㎥～ | （千㎥） | （100） | （88） | （88） | （88） | （91） | （92） |
| | | | 27,953 | 24,689 | 24,659 | 24,653 | 25,506 | 25,607 |
| | 工業用水 | （千㎥） | （100） | （100） | （99） | （100） | （100） | （100） |
| | | | 14,550 | 14,479 | 14,477 | 14,481 | 14,518 | 14,481 |
| 水道料金収入（億円：税込額） | | | （100） | （101） | （100） | （99） | （99） | （99） |
| | | | 269.0 | 272.1 | 269.8 | 265.3 | 266.8 | 267.6 |
| 水道料金収入（億円：税抜額） | | | （100） | （100） | （99） | （97） | （98） | （98） |
| | | | 247.4 | 247.4 | 245.3 | 241.2 | 242.6 | 243.2 |

（注）有収水量は、消防用水及び臨時給水の使用水量を含んでいない。指数は令和元年度を100とする場合の指数



（税込額）

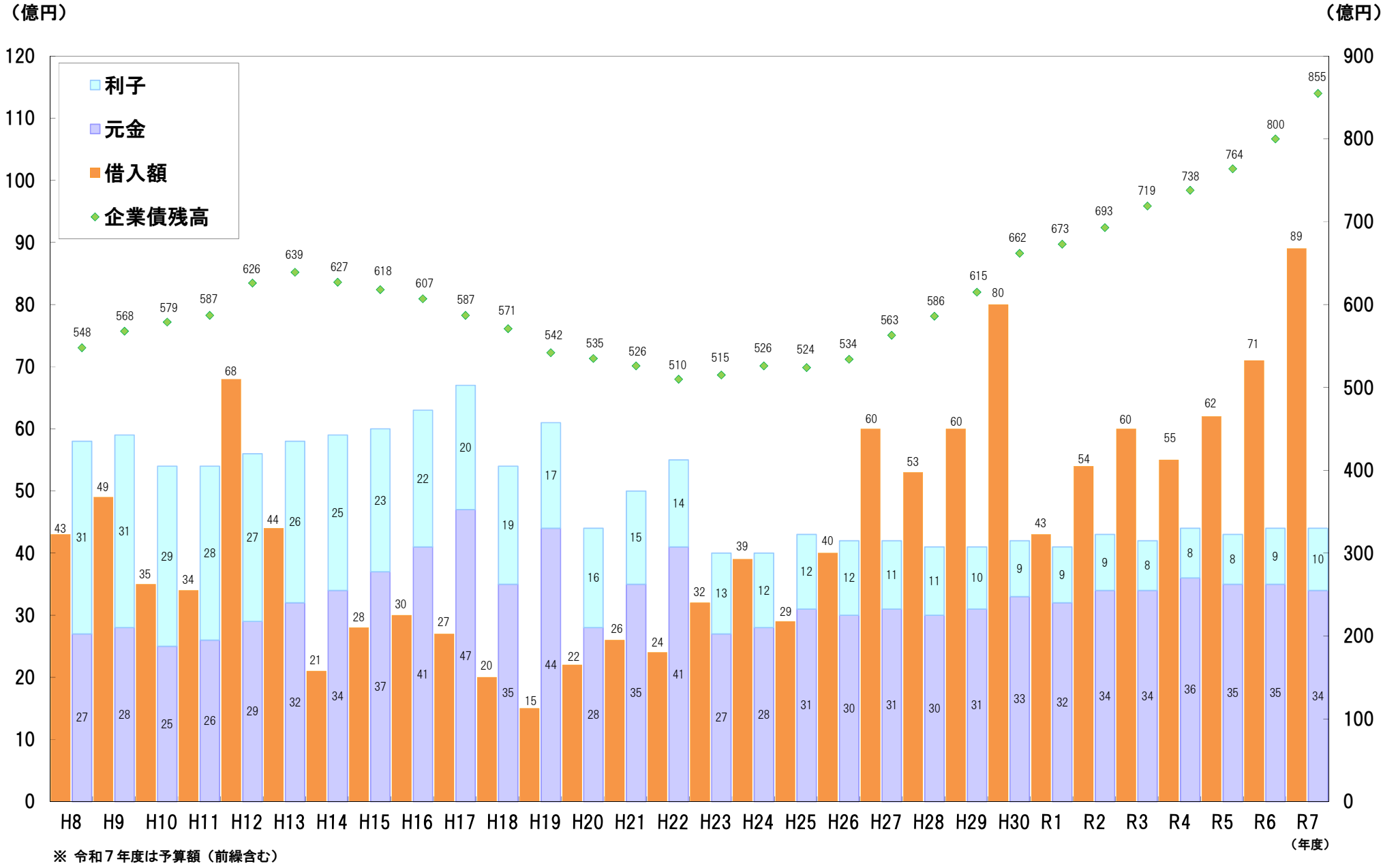
| | | | 令和6年度 | 令和5年度 | 増△減額 | 増△減率<br>% | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 収益的収入 | | | 346億3,000万円 | 346億4,500万円 | △1,500万円 | 0.0 | |
| | 主な収入 | 水道料金収入 | 267億5,500万円 | 266億7,900万円 | 7,600万円 | 0.3 | |
| | | 水道利用加入金 | 13億7,300万円 | 13億7,200万円 | 100万円 | 0.1 | |
| | | 消費税及び地方消費税還付金 | - | 9,800万円 | △9,800万円 | - | |
| 2 収益的支出 | | | 317億6,200万円 | 319億7,300万円 | △2億1,100万円 | △ 0.7 | |
| | 主な支出 | 人件費 | 48億1,900万円 | 44億9,300万円 | 3億2,600万円 | 7.3 | 退職給付費の増 |
| | | 物件費 | 269億4,300万円 | 274億8,000万円 | △5億3,700万円 | △ 2.0 | 修繕費及び固定資産撤去費の減 |
| 3 差引（1－2） | | | 28億6,700万円 | 26億7,100万円 | 1億9,600万円 | 7.3 | |
| ※ 純損益（税抜額） | | | （純利益）<br>16億5,700万円 | （純利益）<br>13億9,100万円 | 2億6,600万円 | 19.1 | |
| 4 資本的収入 | | | 74億5,500万円 | 67億500万円 | 7億5,000万円 | 11.2 | |
| | 主な収入 | 企業債 | 70億7,900万円 | 61億6,800万円 | 9億1,100万円 | 14.8 | 耐震管路等整備事業充当債の増 |
| | | 負担金 | 2億1,600万円 | 3億9,300万円 | △1億7,700万円 | △ 45.0 | 工事負担金の減 |
| 5 資本的支出 | | | 174億3,700万円 | 182億4,000万円 | △8億300万円 | △ 4.4 | |
| | 主な支出 | 建設改良費 | 138億9,700万円 | 147億4,800万円 | △8億5,100万円 | △ 5.8 | 配水施設費の減 |
| | | 企業債償還金 | 35億1,500万円 | 34億7,700万円 | 3,800万円 | 1.1 | |
| 6 差引（4－5） | | | △99億8,200万円 | △115億3,400万円 | 15億5,200万円 | △ 13.5 | |
| 7 資金不足比率 | | | （資金不足となっていない）<br>－ | （資金不足となっていない）<br>－ | | | 財政健全化法における経営健全化基準　20% |

※　金額については、百万円未満を切り捨て。
※　増減率については、小数点第２位を四捨五入。

# 企業債残高と元利償還金の推移と見込み



（利子・元金・借入額）　　（企業債残高）




※ 令和７年度は予算額（前繰含む）

# Ⅲ　工業用水道事業会計

## 1　令和6年度　工業用水道事業会計　決算概況　20

### （１）総括事項

【使用水量】

・産業構造の変化や省資源対策による回収水の再利用等の影響を受け、減少で推移

【事業面】

・浄水場連絡管の整備や老朽化した管路の更新等を実施

【財政面】

・損益において、予算対比で給水収益は減となったものの、減量負担金制度導入に伴う一時的な負担金収入の増に加え、修繕費等の費用が減となったことから、当年度純利益は増加

・単年度資金についても、減量負担金収入の影響により大幅な資金残額が生じ、累積資金残額は増加

### （２）業務の状況

| 契約会社・工場数 | １日当たりの契約水量 | 年間契約水量 |
|---|---|---|
| 55社　75工場 | 51万5,220㎥ | 1億8,805万5,300㎥ |
| 年間使用水量 | 水道料金収入（税抜額） | |
| 1億1,769万7,549㎥ | 68億1,093万6,434円 | |

### （３）建設及び改良工事

【建設改良費の決算額】

・前年度からの繰越事業費を加えて、21億8,167万7,657円

・令和７年度への繰越額は、10億8,536万2,221円

【主な建設改良工事】

＜配水施設費＞

・将来の工業用水の安定供給に向けて、工業用水道浄水場連絡管布設工事等を施行

＜その他の建設改良費＞

・生田浄水場一次濃縮槽汚泥掻寄機等更新工事等を施行

## （１）予算執行状況

### ア 収入

（単位 円：税込額）

| 科　　目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増 △ 減 | 執行率 |
|---|---|---|---|---|
| 収益的収入 | 13,121,507,250 | 13,009,764,792 | △ 111,742,458 | 99.1% |
| 資本的収入 | 1,960,601,000 | 1,679,700,103 | △ 280,900,897 | 85.7% |
| 合　　計 | 15,082,108,250 | 14,689,464,895 | △ 392,643,355 | 97.4% |

### イ 支出

（単位 円：税込額）

| 科　　目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増 △ 減 | 執行率 |
|---|---|---|---|---|
| 収益的支出 | 7,466,961,000 | 7,113,354,002 | △ 353,606,998 | 95.3% |
| 資本的支出 | 4,903,663,687 | 3,286,011,555 | △ 1,617,652,132 | 67.0% |
| 合　　計 | 12,370,624,687 | 10,399,365,557 | △ 1,971,259,130 | 84.1% |

## （２）収支状況

### ア 収益的収支

（単位 円：税込額）

| 区　　分 | 収　　入 | 支　　出 | 収支差引 |
|---|---|---|---|
| 収益的収支 | 13,009,764,792 | 7,113,354,002 | 5,896,410,790 |

収益的収支差額（税抜額）　＝　当年度純利益（△純損失）　5,706,666,483 円

うち減量負担金収入の影響額
50億6,000万円

### イ 資本的収支

（単位 円：税込額）

| 区　　分 | 収　　入 | 支　　出 | 収支差引 |
|---|---|---|---|
| 資本的収支 | 1,679,700,103 | 3,286,011,555 | △ 1,606,311,452 |

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 1,606,311,452円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 188,481,132円、減債積立金 587,517,098円及び過年度分損益勘定留保資金 830,313,222円で補填した。

（３）資金過不足額

ア　令和6年度単年度資金過不足額

（単位　円）

| 区　分 | | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|
| A | 当年度純利益（△純損失） | 5,706,666,483 | 【補填財源の内訳】<br>・当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額　188,481,132<br>・当年度分損益勘定留保資金　1,005,834,415<br>減価償却費　1,073,762,505<br>固定資産除却費　33,052,878<br>長期前受金戻入　△ 100,980,968<br>・退職給付引当金増減額　△ 32,816,480 |
| B | 資本的収支差額 | △ 1,606,311,452 | |
| C | 補填財源等 | 1,161,499,067 | |
| A+B+C | 単年度資金残額（△資金不足額） | 5,261,854,098 | |

イ　累積資金過不足額

（単位　円）

| 区　分 | 令和5年度末資金残額 | 令和6年度単年度資金残額（△資金不足額） | 令和6年度末資金残額※ |
|---|---|---|---|
| （うち退職給付引当金） | （　574,327,740 ） | （　△ 32,816,480 ） | （　541,511,260 ） |
| 資　金 | 10,445,887,456 | 5,261,854,098 | 15,707,741,554 |

※退職給付引当金を除く資金残額については、令和７年度以降の建設改良費及び元金償還金に充てる予定である。

※端数処理の関係から、合計額と内訳が一致しない場合があります。

（４）経営成績

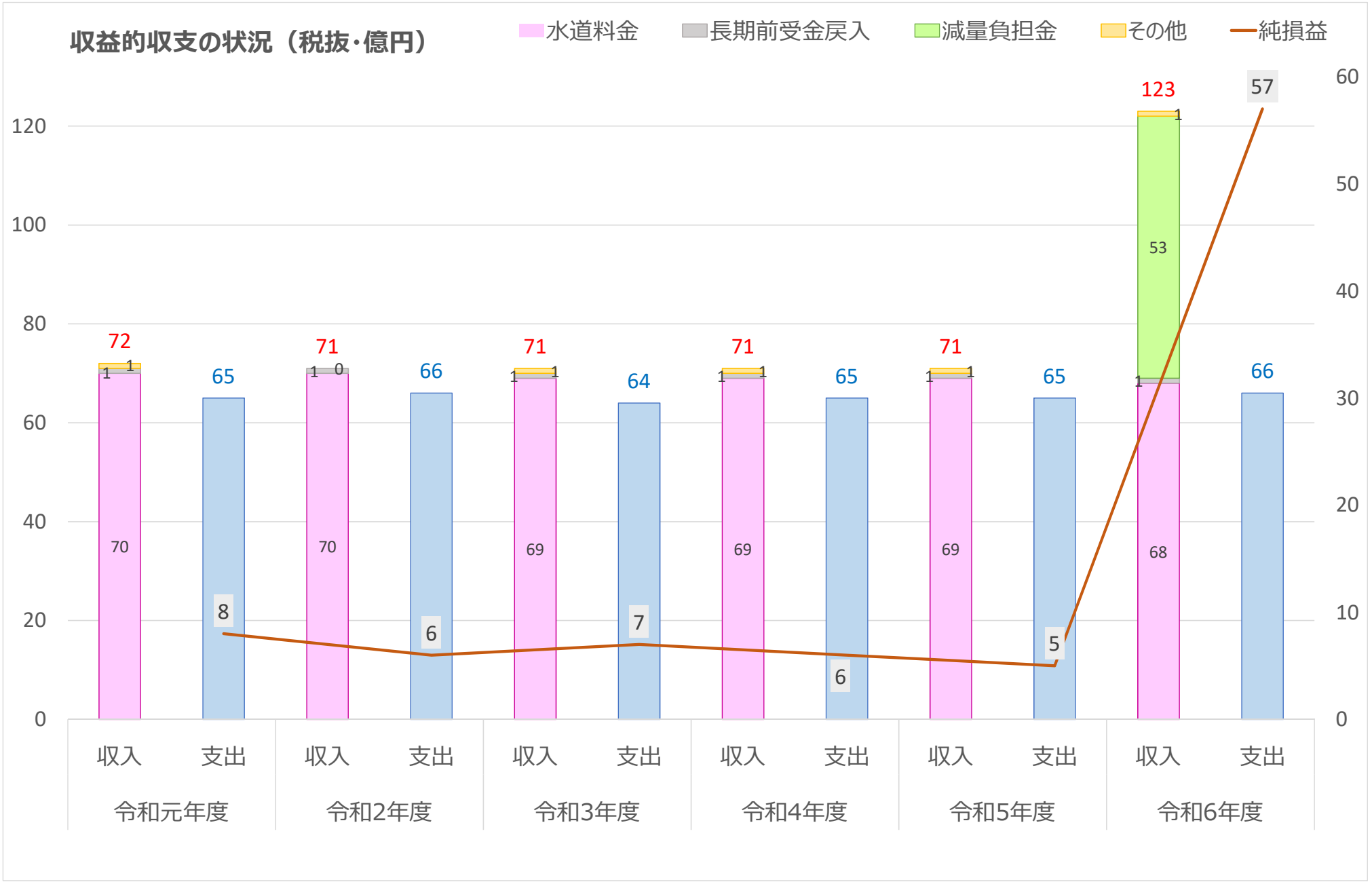
（単位　円：税抜額）

| 科　目 | 金　額 | 科　目 | 金　額 |
|---|---|---|---|
| 営業費用 | 6,204,980,931 | 営業収益 | 6,819,118,747 |
| 営業外費用 | 414,901,187 | 営業外収益 | 155,476,284 |
| 特別損失 | 176,400 | 特別利益 | 5,352,129,970 |
| 総費用 | 6,620,058,518 | 総収益 | 12,326,725,001 |
| 当年度純利益 | 5,706,666,483 | 当年度純損失 | － |
| 前年度繰越利益剰余金 | 0 | 前年度繰越欠損金 | － |
| その他未処分利益剰余金変動額 | 587,517,098 | | |
| 当年度未処分利益剰余金 | 6,294,183,581 | 当年度未処理欠損金 | － |

※当年度未処分利益剰余金のうち、当年度純利益 5,706,666,483円は建設改良積立金に利益処分の予定であり、現金預金の裏付けのない使用後の減債積立金 587,517,098円は令和７年度に資本金に組み入れる予定である。

（５）財政健全化法における資金不足比率の状況

| 会　計　名 | 資金不足比率 | 経営健全化基準 |
|---|---|---|
| 工業用水道事業会計 | 資金不足となっていない<br>- | 20% |




※端数処理の関係から、合計額と内訳が一致しない場合があります。

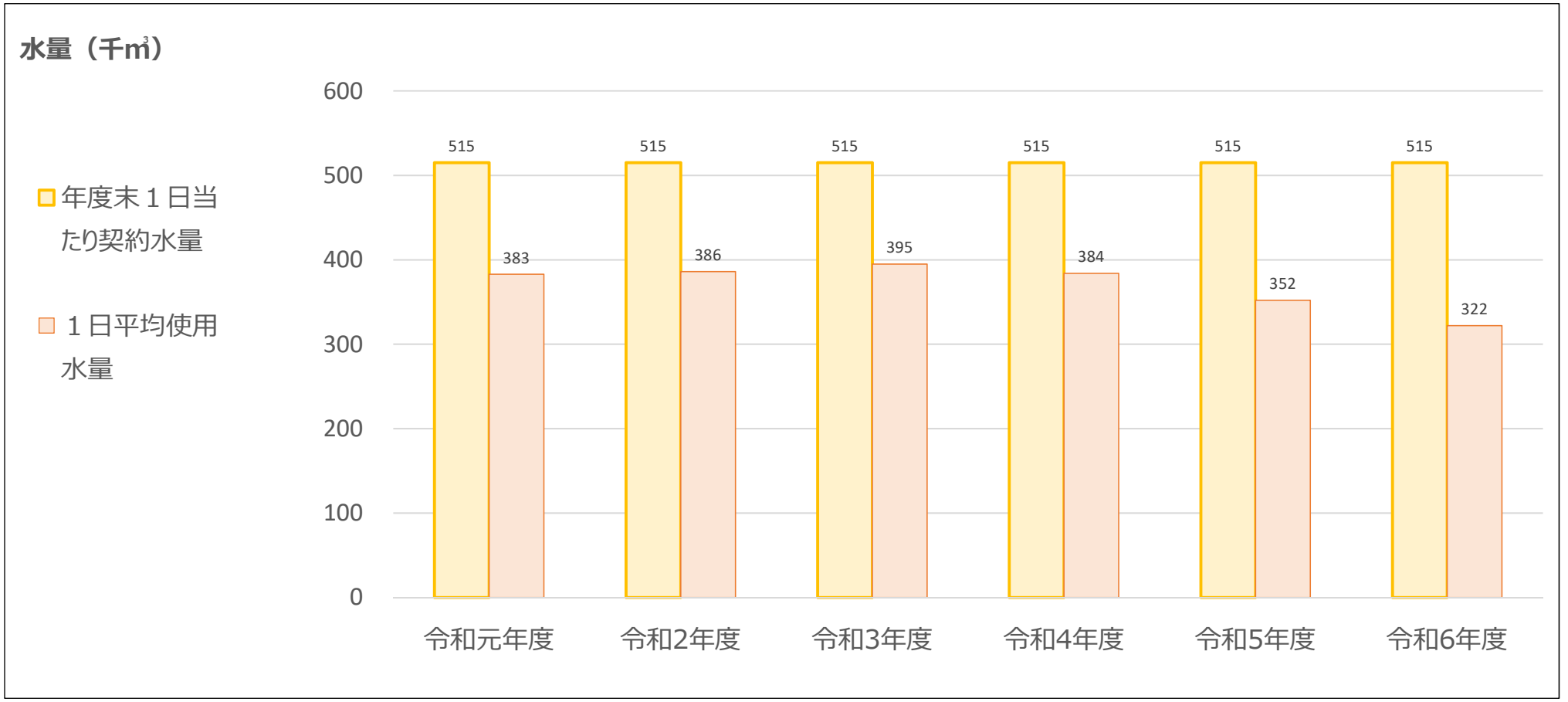
| 項目＼年度 | 令和6年度 | 令和5年度 | 増 △ 減　（%） |
|---|---|---|---|
| 年度末契約会社・工場数 | 55 社　75 工場 | 57 社　77 工場 | △ 2 社　△ 2 工場　（　△ 3.5　） |
| 年間契約水量（㎥） | 188,055,300 | 188,570,520 | △ 515,220　（　△ 0.3　） |
| 年度末１日当たり契約水量（㎥/日） | 515,220 | 515,220 | 0　（　0.0　） |
| 年間使用水量（㎥） | 117,697,549 | 128,873,637 | △ 11,176,088　（　△ 8.7　） |
| 年間配水量（㎥） | 120,148,300 | 130,403,800 | △ 10,255,500　（　△ 7.9　） |
| １日最大配水量（㎥/日） | (9/13) 376,300 | (9/5) 422,900 | △ 46,600　（　△ 11.0　） |
| 調定水量（㎥）※1 | 189,281,816 | 189,826,913 | △ 545,097　（　△ 0.3　） |
| 年間超過水量（㎥） | 1,226,516 | 1,256,393 | △ 29,877　（　△ 2.4　） |
| 配水管の延長（m） | 43,198 | 43,198 | 0　（　0.0　） |
| 水道料金収入（円：税抜額） | 6,810,936,434 | 6,856,097,454 | △ 45,161,020　（　△ 0.7　） |

※1 調定水量(㎥)は、年間契約水量(㎥)と年間超過水量(㎥)の合計である。
※令和５年度はうるう年

上段（指数）

| 区　分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 年度末１日当たり契約水量　（千㎥） | （100）<br>515 | （100）<br>515 | （100）<br>515 | （100）<br>515 | （100）<br>515 | （100）<br>515 |
| １日平均使用水量　（千㎥） | （100）<br>383 | （101）<br>386 | （103）<br>395 | （100）<br>384 | （92）<br>352 | （84）<br>322 |
| 水道料金収入（億円：税込額） | （100）<br>76.0 | （101）<br>76.4 | （100）<br>75.9 | （99）<br>75.6 | （99）<br>75.4 | （99）<br>74.9 |
| 水道料金収入（億円：税抜額） | （100）<br>69.7 | （100）<br>69.5 | （99）<br>69.0 | （99）<br>68.7 | （98）<br>68.5 | （98）<br>68.1 |

（注）指数は令和元年度を100とする場合の指数



（税込額）

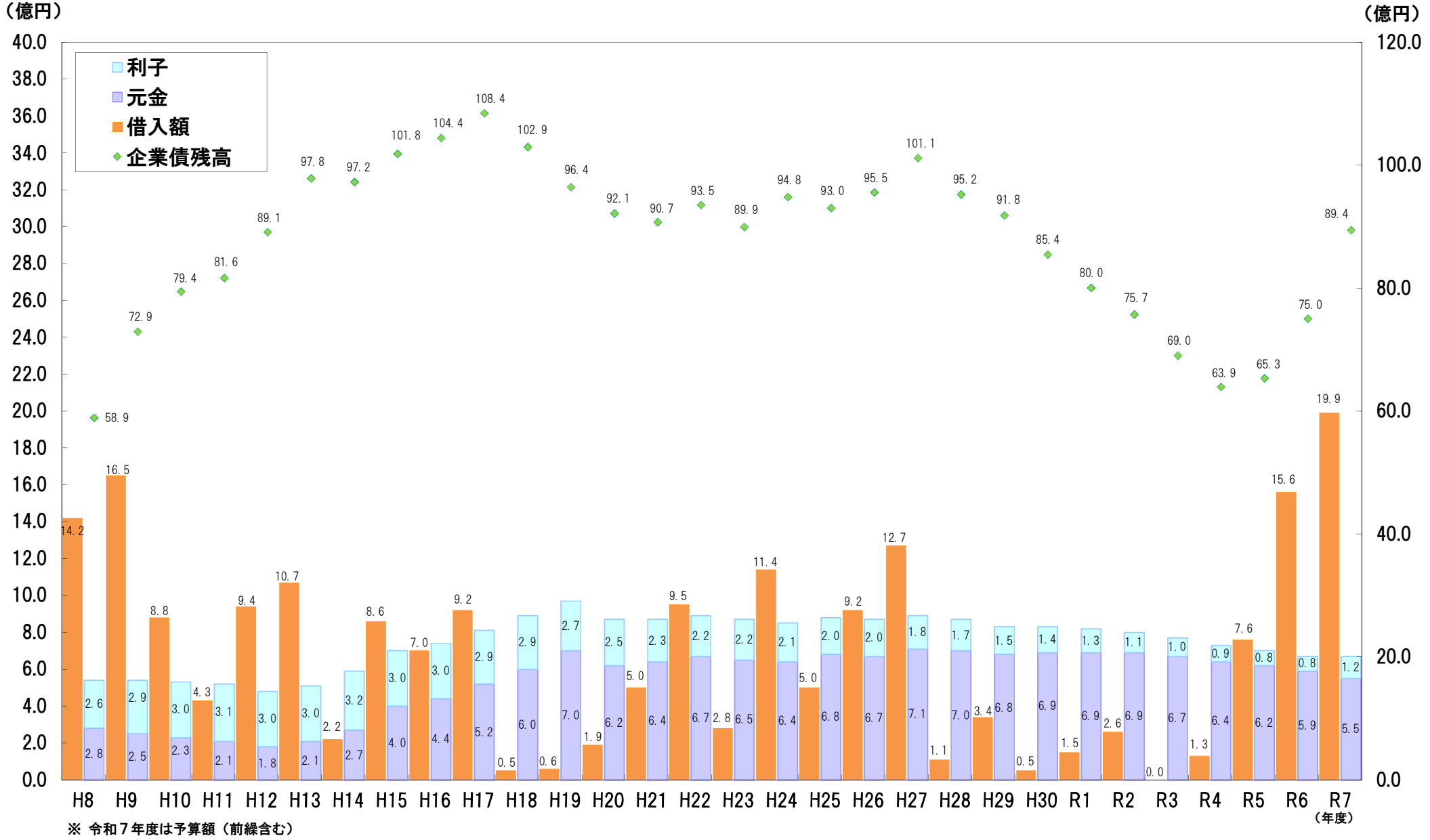
| | | | 令和6年度 | 令和5年度 | 増△減額 | 増△減率<br>% | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 収益的収入 | | | 130億900万円 | 77億6,300万円 | 52億4,600万円 | 67.6 | |
| | 主な収入 | 水道料金収入 | 74億9,200万円 | 75億4,100万円 | △4,900万円 | △ 0.6 | 使用水量の減 |
| | | その他特別利益 | 53億5,200万円 | 4,900万円 | 53億300万円 | 10822.4 | 減量負担金の皆増 |
| 2 収益的支出 | | | 71億1,300万円 | 70億7,900万円 | 3,400万円 | 0.5 | |
| | 主な支出 | 人件費 | 5億7,200万円 | 5億7,400万円 | △200万円 | △ 0.3 | |
| | | 物件費 | 65億4,100万円 | 65億500万円 | 3,600万円 | 0.6 | 消費税及び地方消費税の増、固定資産撤去費の減 |
| 3 差引（1－2） | | | 58億9,600万円 | 6億8,300万円 | 52億1,300万円 | 763.3 | |
| ※ 純損益（税抜額） | | | （純利益）<br>57億600万円 | （純利益）<br>5億3,600万円 | 51億7,000万円 | 964.6 | |
| 4 資本的収入 | | | 16億7,900万円 | 9億2,400万円 | 7億5,500万円 | 81.7 | |
| | 主な収入 | 企業債 | 15億5,500万円 | 7億6,200万円 | 7億9,300万円 | 104.1 | 配水施設等充当債の増 |
| | | 補助金 | 1億2,400万円 | 1億6,200万円 | △3,800万円 | △ 23.5 | 一般会計補助金の減 |
| 5 資本的支出 | | | 32億8,600万円 | 23億900万円 | 9億7,700万円 | 42.3 | |
| | 主な支出 | 建設改良費 | 21億8,100万円 | 16億8,900万円 | 4億9,200万円 | 29.1 | 浄水施設費の増 |
| | | 企業債償還金 | 5億8,700万円 | 6億1,900万円 | △3,200万円 | △ 5.2 | |
| | | 投資 | 5億1,600万円 | - | 5億1,600万円 | - | 公債償還準備金の皆増、その他投資の皆増 |
| 6 差引（4－5） | | | △16億600万円 | △13億8,400万円 | △2億2,200万円 | 16.0 | |
| 7 資金不足比率 | | | （資金不足となっていない）<br>－ | （資金不足となっていない）<br>－ | | | 財政健全化法における経営健全化基準　20% |

※　金額については、百万円未満を切り捨て。
※　増減率については、小数点第２位を四捨五入。

# 企業債残高と元利償還金の推移と見込み



（利子・元金・借入額）　　（企業債残高）




※ 令和７年度は予算額（前繰含む）